

ネイティブ ラクトバチルス・ルテリ グルカンスクラース (α-グルカノトランスフェラーゼ)

Cat. No. NATE-0304

Lot. No. (See product label)

はじめに

「明 中程度の熱安定性を持つグルカンスクラース(**4,6**-アルファ-グルカノトランスフェラーゼ、

ロイターンスクラース)。この酵素は、スクロースからグルコースユニットを転送し、 α (1→4) グルコシド結合を持つ高分岐で高分子量の α -D-グルカンを生成し、また一部の α (1→6)

結合したグルコシルユニットも生成します。

別名 アルファグルカノトランスフェラーゼ; グルコシルトランスフェラーゼ**; 4,6-**アルファ-グルカ

ノトランスフェラーゼ; EC 2.4.1.-

製品情報

種 ラクトバチルス・ルテリ

由来 ラクトバチルス・ルテリ株121

EC番号 EC 2.4.1.-

最適pH 実線、転移酵素活性; 破線、加水分解活性(Kralj et al. 2004)。

最適温度 酵素は約50°Cで最適な活性を示します (Kralj et al. 2004)。

構造 Lactobacillus reuteri121からのGtfa163グルカンシュクラーゼ(ロイタランシュクラーゼ)

の結晶構造が決定され、図1に示されています(Pijning et al. 2012)。- PDBエントリ

4AMC

単位定義 酵素活性の1単位(U)は、1分あたりにスクロースから1 μ molのフルクトースが放出される量

です。